

# 大門だより

No. 3

(463号)

荒川区立大門小学校

校長 野澤 一代

令和5年 6月 1日

大門小ホームページ

荒川区立大門小学校

検索

《本校の教育目標》 考える子 やさしい子 たくましい子

## 「 地域を知る 」

副校長 萩野 隆介

木々の緑が色濃くなる時期となりました。日頃より本校の教育活動に御理解と御協力をいただいておりますことに感謝を申し上げます。4月に着任して2か月、まだまだ不慣れで大門小学校について学ぶ身ではありますが、毎日頑張る大門小の子供たち、保護者の皆様、PTA会長並びに役員の皆様、地域の皆様の御協力にいつも心が温くなる日々を過ごしております。

さて、先日、3年生の子供たちと校外学習に行ってきました。かねてより、この地域を知ることができる機会として楽しみにしておりました。

1回目の校外学習（社会科）の町探検では、学校を出発して、子育て地蔵尊、都電荒川線、大門湯、江川堀跡などを見学してきました。子供たちは「ここ、私の家の近くだよ。」「大門湯に行ったことがある。」など、メモやタブレット端末を片手に笑顔で語っていました。住民の方が使用する路地、古くから残る建物などがとても印象的でした。2回目の校外学習（総合的な学習の時間）では、都立尾久の原公園を散策しました。子供たちが放課後や休みの日に遊んでいる公園も、学習の視点で見ると「こんなところにトイレがあったよ。」「誰かが花壇を作って花が植えてあるよ。」など新しい発見があった様子でした。子供たちが伸び伸びと遊ぶことができる広場や、そこに生きる様々な植物や生物を見ることができる環境に感動しました。

ここ数年、新型コロナウイルス感染症の影響で、子供たちは自分の住んでいる地域に出て学習をしたり、行事に参加したりする機会が減りました。また、自分の住んでいるこの地域のことをよく知らずに、毎日過ごしている子供もいるかもしれません。それはとても悲しいことだと思います。令和5年5月8日より新型コロナウイルスは5類感染症になりました。これを機に、さらに地域に出て学習をしたり、地域の行事に参加したり、地域に住む皆様と関わり合ったりする場を、少しでも増やしていきたいと考えております。そして「子供は地域の宝」と言われているように、子供たち自身が、自分が住む地域のことを知り、素晴らしい環境に囲まれたこの地域を、心から大切に思える子供たちを保護者の皆様、地域の皆様と協力して育てていきたいと思っております。

